

職場からたたかいを作り出そう！

東京地本 拡大分会代表者会議開催



2020年9月26日(土)、東京地本は赤羽会館にて拡大分会代表者会議を開催しました。

コロナ禍での初の開催となりましたが、参加人数を制限し、広い会場を準備し、時間を短縮するなど、感染予防に注意しながら開催をしてきました。会議では、職場の問題を中心に活発な議論が行われました。

執行委員長あいさつ

まことに集まって意見交換を行うことが求められている。

本日はコロナ禍で大変ななか集まつていただき、東日本ユニオンの運動への理解と協力に感謝する。

新型コロナウイルスは終息が見えない状況にある。地本は昨年の地本大会以降、集まれていない。7月に書面による臨時大会を開催した。しかし、い

地方では新型コロナウイルスに対する過剰な反応が現れている。本部は「正しく恐れる」と言っている。

JR東日本にはいわゆる「一組」というものが存在しなくなった。東労組でも5,000人前後ではないかと言われている。そんな中でサービス労働組合との訴訟を起こしている。

会社は「休業指示」を提案し、9月1日実施となつた。多くの問題がある制度である。しっかりと見ていかなければいけない。

コロナ禍でますます労働組合が必要になつていると思う。われわれには組合未加入の若者に労働組合の必要性を伝えていく義務がある。

提起された内容

- ◆労働条件向上の取り組みについて
- ◆新型コロナウイルス感染防止の取り組みについて
- ◆年末手当のたたかいに向けて

- ◆分会組織の整備と部会の廃止について
- ◆その他

主な議論内容

年末手当のたたかいについて

我々もただ満額獲得と言うだけではないのか。できることをやるべきではないのかと考え、職場の経費節減のアイディア募集に、提出してきた。

経費節減を否定しないが、それがノルマ化されることがあつてはならない。

賃金アンケートを書いてもらつたが、年末手当については会社状況を考えた理性的な回答が多い。結果は本部に伝えて年末手当のたたかいに活かしたい。

新型コロナについて

グループ会社では対策が十分でないところもある。ある職場は、マスクの配布がなく支社出向窓口に相談したところ、突然配布された。

支社は「現場から問題が上がっていない」という。問題点は職場から声を上げていくことが重要。

また、アンケートからは、社内の感染状況の情報開示を求める声が多い。

支社は現場にできる範囲での情報は伝えていた。掲示するかしないかは現場判断。まずは、現場長に開示を求めて欲しい。

職場状況について

駅改良が行われたが、落とし物を拾得する際、接近がついていないので危険。抑止をかけて行うとの話も出ているが、指令があまりやりたがらないという話もある。

最も安全な方法を探るべき。実際に抑止をかけて落とし物拾得を行なっている駅があるので、出来ないことではない。

業施策で標準数が減らされているが、減らされた人はどこに行っているのか？

会社の言い方では「標準数＝実数ではない」。一定期間は標準数以上に抱えることもある。

終電繰り上げプレス発表したが、

作業ダイヤはどうなるのか？

支社は成案にならないと提案しない。現在は不明。

まとめ

予想以上に、職場は会社のフリー ハンドになっている。この3年新入社員は労働組合に入っていない。そこへジョブローテーションが導入され、社員は希望を実現するには自分

お客様の減少に伴い、駅の改札窓口を閉めて本来業務以外の作業を行う事が推奨されている。お客様が来た時だけ窓口を開けて対応している。

**

やっている内容は何か。マイプロや委員会など作業ダイヤと違う内容であるとすれば、そのような「ながら作業」はするべきではない。しっかりとケジメをつけて行うべき。

会社は新型コロナで「変革2027」を加速すると言っているが、かなりの危機感を持って進めるだろう。その一環としてのジョブロー テーションとすれば、自分のことのみを考えた殺伐とした職場になってしまふ。

「変革2027」を担うのは労働者である。そこで働く人が不幸になるのでは意味がない。

労働組合は何をするのか。まずは雇用。そして、年功序列賃金。さらには明るく働くことの出来る職場。そのためには、現場から声をあげていく事が必要である。

これからも大変な状況が続くと思う。現在は、退職者激励会も出来ない状況。そのような中ではあるが、12月12日に地本大会を開催する。皆さんの協力を願う。



第9回地本定期大会

日 時 2020年12月12日（土）13時から

場 所 南部労政会館

（JR大崎駅南改札口より3分）

議 題 2020年度運動方針（案）

2020年度予算（案）ほか

その他の 参加者を制限して開催します。詳しくは地本までお問い合わせください。

賃金アンケート

地本は、年末手当のたたかいにあたり「賃金アンケート」を取り組みました。短期間の取り組みにもかかわらず多くの皆さんからご協力をいただきました。結果は、後日情報紙にてお知らせします。

ご協力ありがとうございました